

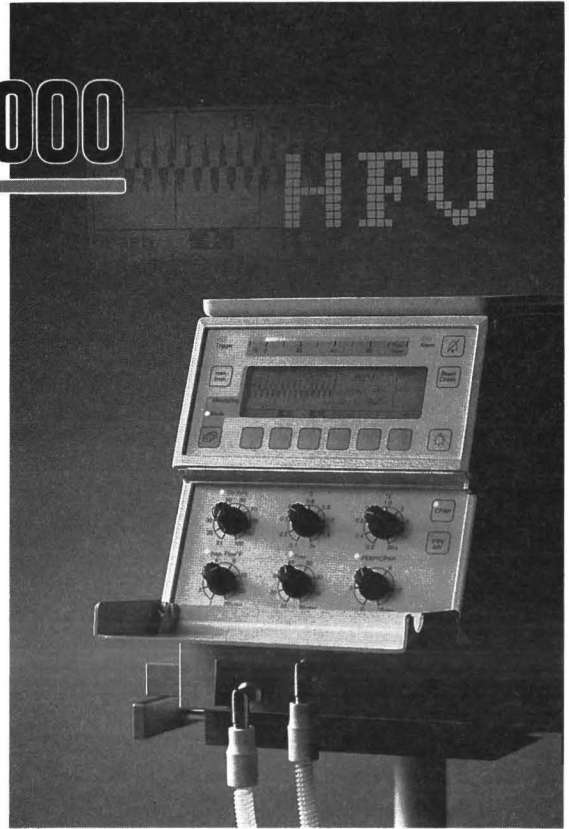
Dräger

未熟児・新生児用人工呼吸器

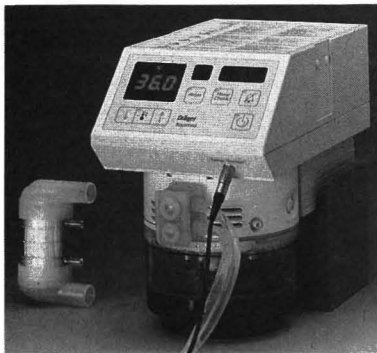
ベビーログ8000

新世代の人工呼吸 ワークステーション

- フロートリガー方式により大幅にトリガー機能が向上した同期式換気を実現
- 圧力、フロー、換気量の実測値とリアルタイム波形をモニタリング
- 操作及びモニタリングのしやすい高頻度換気(HFV)モード
- 専用パソコンソフト(ベビービュー)により児の換気状態及び機器の作動状況を更に高度に監視



承認番号：03B輸第0672号



新しい発想の アクアモド加湿器

- 微細多孔膜の水蒸気分圧差により相対湿度95%以上の加湿が可能
- 低抵抗(約 $2\text{cmH}_2\text{O}/\text{l}/\text{sec}$)、低コンプライアンス(約 $0.08\text{ml}/\text{cmH}_2\text{O}$)
- ホローファイバーによる無菌加湿を実現

輸入販売元

日本ドレーゲル株式会社

■本社 千106 東京都港区南麻布2-1-18 TEL.03-3280-4721 FAX.03-3280-4740

●札幌営業所 TEL.011-716-7565

●仙台営業所 TEL.080-786-7268

●名古屋営業所 TEL.052-323-7121

●大阪営業所 TEL.06-945-6263

●広島営業所 TEL.082-228-4112

●福岡営業所 TEL.092-441-5655

Dräger

麻酔管理の新たな基準

pEEGモニター

現代の麻酔では、ガス交換や血行動態の評価には、精巧なモニタリングを行っています。麻酔の標的臓器である脳に対しては、決め手となる有効なモニタリングが存在しませんでした。現在用いられている麻酔深度の指標、例えば、血圧、心拍数、瞳孔径、発汗、流涙等は、いずれも特異的なものではありません。従来、麻酔深度の評価はこれらの生理学的な数多くの要因に左右され、臨床兆候を正確に把握することが難しく、そのうえ麻酔薬の特性の相違、患者の個人差、等の要素も加わり、ますます麻酔深度の評価を困難なものにしています。

pEEG(processed EEG)は、測定した脳波に一定の処理を加える事により皮質活動を評価し、麻酔管理の質を高めようとするものです。



■pEEGモニターの長所

- 一薬物作用の始まりや経過、新しい麻酔薬までその効果をモニタリング。
- 一 個々の患者、特に高齢者やハイリスクグループの麻酔の必要性に応じた吸入麻酔薬や静脈麻酔薬の投与をサポート。
- 一術中覚醒、痛覚遅延の予見。
- 一専用パソコンソフトを使用することにより測定データを無駄なく多角的に解析。
- 一シンプルな操作性を実現、コンパクトサイズ(H133×W212×D163)。

輸入販売元

日本ドレーゲル株式会社

本社：〒106 東京都港区南麻布2-1-18

TEL03-3280-4721 FAX03-3280-4740

●札幌営業所 ●仙台営業所 ●東京営業所 ●名古屋営業所 ●大阪営業所 ●広島営業所 ●福岡営業所 ●